

国立研究開発法人産業技術総合研究所運営費交付金

令和4年度予算額 614.8億円（619.8億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 本事業は、産業技術の幅広い分野における研究開発を総合的に実施する国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）に運営費交付金を交付するものです。
- 産総研は、「統合イノベーション戦略2019」等において、研究領域の多様性を総合的に生かし、社会課題の複雑性や非常に速い時代変化に対して機動的で課題融合的な研究開発を進めていくことが求められています。
- また特定国立研究開発法人として、世界最高水準の研究開発成果の創出並びにその普及及び活用の推進を図ることが強く期待されていることを踏まえ、「世界に先駆けた社会課題の解決と経済成長・産業競争力の強化に貢献するイノベーションの創出」をミッションとして、以下の業務に取り組んでいます。
 - 社会課題の解決に向けたイノベーションの主導
 - 革新的な技術シーズを事業化に繋ぐ「橋渡し」の拡充
 - イノベーション・エコシステムを支える基盤的研究
 - 既存の産業分野の枠を超えた領域横断的な標準化活動
 - 地質調査や計量標準に関する知的基盤の整備 等

成果目標

- 工業の科学技術に関する研究及び開発等の業務を総合的に行うことにより、産業技術の向上及びその成果の普及を図り、もって経済及び産業の発展並びに鉱物資源及びエネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保に資する。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



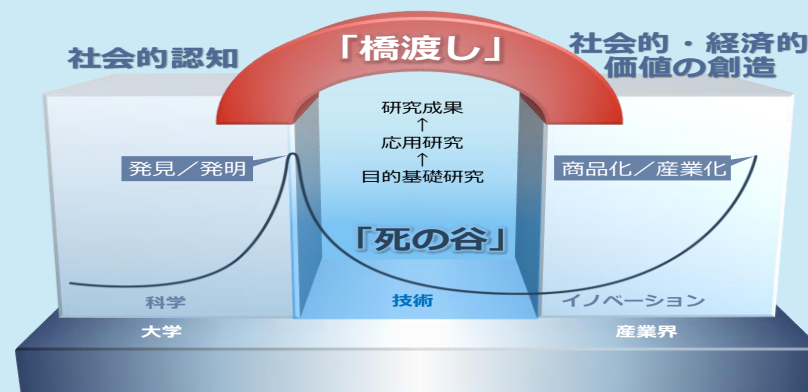
運営費
交付金

国立研究開発法人
産業技術総合研究所

事業イメージ

産総研の第5期中長期目標について

「世界に先駆けた社会課題の解決と
経済成長・産業競争力の強化に貢献するイノベーションの創出」



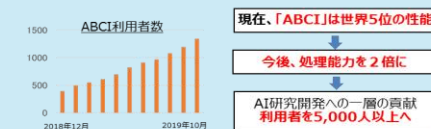
● 世界の社会課題解決

- ・持続可能な社会の実現を目指した研究開発を推進
- ・吉野博士をトップにゼロエミッション国際共同研究センターを推進
- ・量子デバイスなど次世代コンピューティング拠点を新たに立ち上げ



● 競争力強化に向けた「橋渡し」の拡充

- ・ベンチャー支援、地域イノベーション、設備共用化等の推進
- ・OIL(大学との連携拠点)、冠ラボ(企業との連携拠点)強化
- ・AI用スパソコン(ABCI)の民間企業による活用等を加速
- ・引き続き民間資金獲得に注力



● イノベーション・エコシステムの基盤整備

- ・長期的視点も踏まえた技術シーズを創出、自然災害の軽減・環境保全・資源開発等のための地質調査、
- ・広範な産業分野に貢献する計量標準・標準物質の開発と普及、標準化推進センター(仮称)の新設
- ・大学院生(修士・博士)をRAとして年間500人雇用



● 研究開発成果を最大化する中核的・先駆的な研究所運営

- ・他の研究機関等への波及・展開を先導、
- ・技術インテリジェンスの強化・蓄積及び国家戦略等への貢献
- ・国の研究開発プロジェクトの推進への波及、
- ・国際的な共同研究開発の推進